

おかみ
女将の部屋

怪談 de night

2025

8.21
(木)

今夜、館で何かが起こる



イラスト：安楽 雅志

ほほほ・・・
観に来ないと枕元に立ちますわよ！

主催：文化のみち樟木館（指定管理者 株式会社 COSMO CONSULTANT）

日時：8月21日（木）開演：午後6時30分～午後8時30分（開場：午後5時30分）

会場：文化のみち樟木館

定員：40名（電話予約優先） 参加費：5,000円（ワンドリンク付）

申込日：8月11日（月・祝）午前10時より電話申込 ☎052-939-2850（文化のみち樟木館）



名古屋市中区にある、文化のみち種木館。今から10年ほど前に建てられた、茶室がある見事な庭園を持つ、和洋併設の豪邸。この趣ある館で令和7年8月21日（木）に、世にも奇妙な体験をした者たちが集まり、参加者自らが、百物語の形式で怪談を語るといイベント「女将の部屋 怪談デナイト」が開催される。

薄暗い大広間で、ひとつまたひとつと語り終えたその時！信じられない出来事が館を襲う。いったいこの館で何が起こるのだろうか。参加した者だけが知ることとなるだろう。

記者 福井健二

種木新聞

種木刊

発行元
文化のみち種木館

特別版

今日のことは

幸福は
我が心にあり

出演者

あいち妖怪保存会共同代表
文化のみち種木館館長
島田尚幸
香川絢子

今宵のゲストは？

老舗料亭の元女将の経歴、博物館学芸員でもある種木館館長・香川絢子が、毎回ゲストとともにお酒を交えながら歓談する一夜限りのトークイベント「女将の部屋」。今宵のゲストは、妖怪文化研究家・あいち妖怪保存会共同代表でもある島田尚幸氏をお招きし、「百物語」の形式を一部取り入れて開催します。真夏の夜の種木館で背筋も凍る怖い怪談話を存分にお楽しみください。

百物語とは

幽霊、妖怪、怪物、奇妙な出来事などをテーマに百本の蠟燭（ろうそく）を部屋に灯し、参加者たちが順番に怪談を語る形式で、江戸時代に武士の肝試し（きもだめし）としてはじまり、後世に伝えられたとも言われています。百話目を語り終えた最後の蠟燭が消えるのと、本物の「物の怪」が現れるという言い伝えがあり、呪術的な意味合いを持ちますが、実際には災いや幸福など、多様な解釈があります。



島田尚幸（しまだなおゆき）
プロフィール
名古屋生まれ。

妖怪文化研究家 東アジア怪異学会会員、あいち妖怪保存会共同代表
ふるさと怪談トークライブ in 名古屋／静岡／田原実行委員会
実行委員長 怪談・妖怪・文学などを題材とした講演会・トークイベントに出演、雑誌等でコラムも執筆。「大ナゴヤツアーズ」「やつとかめ文化祭」などで、妖怪や奇談・怪談をテーマにしたまち歩き案内人も務める。著者・共著書に、「やりのおし高校の生物」（ナツメ社）、「亀ト」（東アジア怪異学会編／臨川書店）、「響鬼探究」（東雅夫・加門七海編／国書刊行会）、「怪異学入門」（東アジア怪異学会編／岩田書院）、「愛知妖怪事典」（あいち妖怪保存会編著／一柳書房）、「愛知怪談」（竹書房）ほか

イベントの企画・運営のご用命は
株式会社コスモコンサルタント



名古屋市中千種区内山 1-1-8 TEL.052-712-2800
<https://cosmoconsultant.wixsite.com/index>



T. IMOTO & CO.
MANUFACTURERS
OF
PORCELAIN AND EARTHEN WARES.
社 会 資 合
店 商 元 井

8/11・9/15
ハッピーマンデー
文化のみち種木館



文化のみち種木館
Cultural Path Shumoku Museum
旧井元為三郎邸

文化のみち種木館 名古屋市中区種木町2丁目18番地 ☎052・939・2850
交通案内：地下鉄桜通線「高岳」下車、1番出口より北に徒歩10分
文化のみち種木館に駐車場はございません
開館時間：午前10時～午後5時、休館日：月曜休館（祝日の場合は翌平日）
入場無料（要入館料200円※中学生以下は無料）主催：文化のみち種木館



MAP



URL